

図2 メタボ該当者・その予備群の推移

さが健康維新県民運動

県民の“元気で長生き”（健康寿命の延伸）を目指し、4つの分野で健康づくりの様々な取組を行っています！

- 1. 歩く・身体活動** (令和元年度重点)
 - まず、10分長く歩こう
 - ・目指そう、プラス1,000歩/日
- 2. 食と栄養** (令和2年度重点)
 - まず、野菜を一皿多く摂ろう
 - ・目指そう、プラス80g/日
- 3. 歯と口の健康** (令和3年度重点)
 - まず、歯の健診に行こう
 - ・目指そう、80歳で自分の歯20本
- 4. たばこ** (令和4年度重点)
 - まず、禁煙にチャレンジ
 - ・目指そう、6ヵ月後の卒煙

図3 さが健康維新県民運動 4本柱

2 「さが健康維新県民運動」事業内容

令和元年度は、「歩く・身体活動」を重点とし、日常的に「歩く」ことがライフスタイルとなるように、スマートフォンアプリ SAGATOCO をリリースし、県民へ楽しく歩くことを提案した。令和5年1月20日現在、9万4千ダウンロードを突破している。

令和2年度は、「食と栄養」を重点とし、「いただきますは野菜から～SAGA VEGETABLE START Project～」（ベジスタ）と題し、野菜からよくかんで食べること、1日+80gの野菜を食べることを普及啓発した。本事業で作成した絵本「いただきますは野菜から」は、県内全ての保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、公立図書館、産婦人科に配布し、食育の場等で広く活用されている。

令和3年度は、「歯と口の健康」を重点とし、まず歯科健診を受診することを県民に啓発することを目指した。11月1か月間は佐賀県歯科医師会の協力によりくちパト健診（無料）を行うことができた。

令和4年度は、企業単位でチームを作り禁煙に取り組んでもらう「卒煙ジュエル」を実施している。

「歩く・身体活動」
令和元年度からの取組

令和元年10月
佐賀県公式ウォーキングアプリ「SAGATOCO」スタート!

職場で、学校で、家族で、
「歩く」を一緒に楽しみましょう!

- ・歩数に応じたポイント付与
- ・ポイントを使って協力店でサービスゲット!(ドリンク1杯無料など)

↓ダウンロードはこちらから(SAGATOCOで検索!)

94,000ダウンロード突破!

図4 SAGATOCO

「食と栄養」

いただきますは野菜から
ベジスタ!
SAGA VEGETABLE START project

- ・絵本の活用
- ・スーパーマーケットでのイベント開催
- ・SNS(インスタグラム)を活用した啓発
- ・+80gレシピ紹介
- ・指定野菜摂取量測定器を活用した啓発
- ・企業向けベジスタ企画コンテストの開催

令和4年度は
こどもも大人も
ベジスタ!

佐賀県 オリジナル絵本
「いただきますはやさいから」
県内の小学校、保育所、幼稚園、こども園、図書館、小児科、産婦人科へ配布しました。

図5 ベジスタ



図6 くちパト

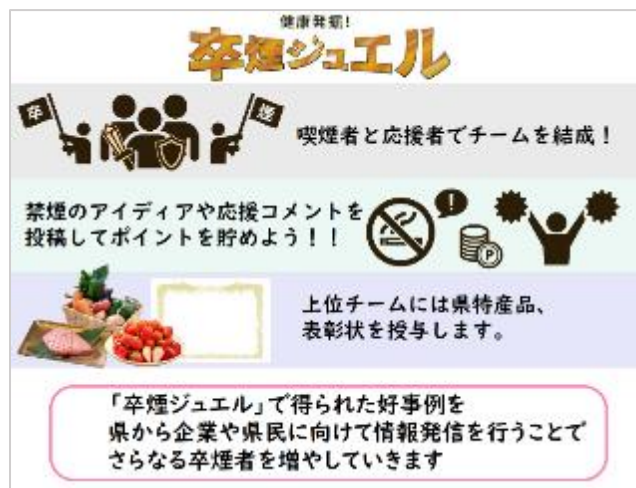


図7 卒煙ジュエル

3 「くちパト」の目的

歯周病が全身の健康に影響することや、糖尿病と歯周病の患者においては、病気が相互に作用することが明らかになっているため、歯科健診による歯周病の予防や早期治療の重要性が増しているが、県民の歯科健診受診率は48.7%にとどまっている（県の目標は70%）。そこで県民に「歯と口の健康」の重要性を周知し、歯科健診の受診勧奨による歯周病の予防や早期治療を行うことで糖尿病等の生活習慣病の改善を図ることを目的としている。

4 くちパトの内容

- (1) キャラクター、キャッチコピー、啓発チラシを作成した。
- (2) 公共施設等において歯科に関する啓発イベントを実施した。
 - ・ 歯科相談ブースの設置
 - ・ 歯周病と糖尿病の関連を周知するための唾液検査
 - ・ 子供たちの歯みがきダンス
- (3) 新聞広告
- (4) 佐賀県歯科医師会の協力により、無料の歯科相談（くちパト健診）を11月の1か月間実施した。



図8 くちパト キャラクター



図9 くちパト キャッチコピー



図 10 チラシ



図 11 啓発イベント（歯科相談）の様子

5 まとめ

「歯と口の健康」が歯科保健単独の事業ではなく、「さが健康維新県民運動」の4本柱の一つとして取り上げられたことで健康福祉部の中でも歯科がより大きく認識されてきた。今後、「くちパト」の効果として歯科健診受診者数だけでなく、医科歯科連携特に糖尿病患者の医科歯科連携が進んでいくことを目指していきたい。

令和5年度から、第2次さが健康維新県民運動として4年間の事業をスタートさせる。くちパトも更に広く県民に周知していきたい。

2 活動紹介

官民協働「健口スマイル」推進事業について

山口県健康福祉部健康増進課 主幹 宍戸 勇介



1 はじめに

山口県健康福祉部健康増進課の宍戸と申します。日頃より国立保健医療科学院ホームページ内の行歯会だよりを拝見し、自治体における歯科保健行政について勉強させていただいております。

この度、本県の官民協働「健口スマイル」推進事業の執筆依頼をいただきましたので、併せて簡単に自己紹介もいたします。

2 自己紹介

東京歯科大学を令和2年3月に卒業後、同水道橋病院で臨床研修歯科医を経て、令和3年4月厚生労働省に入省しました。厚生労働省では医政局歯科保健課で歯科医療施策（歯科医療提供体制、歯科専門職、歯科関係法令業務等）を担当し、今年度の7月に山口県庁に赴任しました。以後宜しくお願いいたします。

3 官民協働「健口スマイル」推進事業について

山口県では、令和2年度より官民協働「健口スマイル」推進事業として、県・県歯科医師会・県歯科衛生士会・歯科関係等企業の7団体での、官民連携による歯科保健事業に取り組んでいます。

事業においては、各ライフステージの特性に応じて、歯科医師会等の関係団体のノウハウや参加企業のコンテンツを活用し、県民の口腔衛生意識向上のための普及啓発や人材育成（健口スマイルリーダー[※]の養成講習会）、モデル事業等を実施しています。

事業は県歯科医師会への委託事業の形式で実施しており、下記の事業例のいずれも、県歯科医師会の先生方を中心に実施いただいております。

（事業例）

乳幼児期：「はみがきしよう！オンラインこども教室」の開催（1,569名参加）、フーセンガムを用いた口腔機能トレーニングの実証実験（株式会社ロッテ）

学 齢 期：モデル小学校において、学校歯科医の協力の下、「フロスタチャレンジ」「kids 歯ッカソン」（ライオン株式会社）等の歯科保健プログラムの実施

成 人 期：MIGAGOT（ライオン株式会社）、電動デンタルリンスサーバー（株式会社サンスター）の事業所への設置等による、「昼歯磨き」習慣の定着促進

高 齢 期：無歯科医地区における、通いの場での口腔体操

※健口スマイルリーダー：歯科医師、歯科衛生士等の専門家から指導を受け、業務や日常生活で対象とする県民に歯・口腔の健康づくりの大切さや知識を伝えるリーダー

4 おわりに

本県の県庁内の歯科専門職は当職1人であり、行歯会だよりは他自治体の歯科保健施策を知ることができる貴重な情報源であり、大変有難く存じます。

簡単な挨拶と事業紹介で大変恐縮ではございますが、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

健口スマイルとは

HOME > 健口スマイルとは

口腔衛生意識を高めて、健康で楽しい人生100年時代を!!
健口スマイル事業は、口腔衛生意識向上に向けた官民協働による健康事業です。

【事業主体】

- ・山口県
- ・(公社) 山口県歯科医師会
- ・(一社) 山口県歯科衛生士会

【協力自治体・団体】

- ・山口県下の各自治体 (12市・8町)
- ・自治会 等

【協力パートナー】

- ・サンスター (株)
- ・ライオン (株)
- ・(株) ロッテ
- ・(株) 山口フィナンシャルグループ

【協力事業者】

- ・地元事業者 (特に健康経営に関心を示す事業者や事業を県内に誘致する流通・飲食関連事業者等)

官 連携 民
による口腔衛生意識向上事業

公的機関と民間事業者、それぞれの持つ特性や強みを連携・融合させ、「健康と笑顔は口元から」を合言葉に、口腔衛生意識の向上を通じ山口県民の健康寿命の延伸を応援しています。

(出典) 健口スマイル推進事業 HP : <https://www.kenkousmile.jp/>

3 報告

第43回むし歯予防全国大会 in ISHIKAWA 参加報告

千葉県 市原市保健福祉部保健センター

主任 高澤 みどり



1 はじめに

令和4年11月5日(土)、3年ぶりで対面開催された第43回むし歯予防全国大会 in ISHIKAWA に参加してきました。令和元年度第41回を秋田県で開催した後、令和2年度は新潟県弥彦村での開催予定が新型コロナウイルス感染症の影響で翌年に延期されましたが、結局翌令和3年度はオンライン開催となり、残念ながら弥彦村での対面開催はかないませんでした。私もシンポジストとして弥彦村で皆さまとお会いできるのを楽しみにしておりましたが、その楽しみは1年後の金沢で叶うこととなりました。

NPO 法人日本フッ化物むし歯予防協会が主催する本大会は、世界で最も美しい駅14選の中で唯一日本から選ばれた金沢駅前の石川県立音楽堂交流ホールにて、石川県歯科医師会と石川県の共催で完全対面形式でした。「フッ化物で育む未来の健口～はじめの一步を踏み出そう むし歯ゼロ社会をめざして～」をテーマに、152名の参加がありました。



2 基調講演及びシンポジウム

来賓の馳 浩^{はせひろし} 石川県知事、村山卓金沢市長から祝辞をいただいた後、基調講演1は、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康推進歯学分野相田潤教授から「むし歯に関する最先端の科学とは？」との演題で、健康格差解消におけるフッ化物応用の重要性などの講演がありました。

基調講演2は、厚生労働省医政局歯科保健課小椋正之課長から「歯科保健を取り巻く環境」について、令和5年度の予算要求などを交えて話されました。

次いで行われたシンポジウムは、4人のシンポジストから報告がありました。まず、行歯会副会長でもある新潟県福祉保健部健康づくり支援課清田義和課長補佐から「新潟県におけるフッ化物洗口の取組とその考え方」として、昭和45年、全国に先駆けて始まった新潟県のフッ化物洗口について、その経緯や効果について報告されました。

その後、石川県健康福祉部健康推進課宮川宏美保健師から「石川県における子どものむし歯予防対策推進事業」、石川県かほく市健康福祉部健康福祉課北市美沙紀保健師から「県の導入支援で始まったかほく市こども園でのフッ化物洗口事業」、石川県金沢市立中村町保育所浦島久美所長から「金沢市の市立保育所におけるフッ化物洗口導入の事例」についてそれぞれ報告され、基調講演演者も含めたディスカッションが行われました。

石川県では、小中学校においてはフッ化物洗口の実施には至っておらず、就学前施設での実施率もあまり高くはなく、県は令和2年度から「子どものむし歯予防対策推進事業」でフッ化物洗口導入支援を始めたとのことでした。

愛知県に関する最近の話題としては、ジブリパークの開園でしょうか。また、大河ドラマ「どうする家康」も始まりました。味噌カツ、ひつまぶし、小倉トースト…おいしい名物料理も多くありますので、徳川家康やその他の戦国武将ゆかりの地を巡る愛知の旅はいかがでしょう。

観光の一つに、県と市の本庁舎があります。名古屋市役所本庁舎と愛知県庁本庁舎は隣同士に建っており、鉄筋コンクリート造の現代建築に和風の瓦屋根をのせる和洋折衷のいわゆる「帝冠様式」になっています。どちらも名古屋城との調和にも配慮したデザインで、平成 26 年にそろって国の重要文化財に指定されました。会議の関係で愛知県正庁に伺ったのは、市役所本庁勤務時代の良き思い出です。

ウェブから少し見ることができますので、皆さんもプチ観光してみたいはいかがでしょうか。



【愛知県公式】愛知県庁本庁舎の紹介
(360° パノラマビュー)



【名古屋市公式】#お写真ぼ MOVIE
(名古屋市役所本庁舎)
(YouTube)

2 世話役のつぶやき

平成 31 年 1 月に名古屋市へ入職し、4 年になりました。まだ 4 年ではありますが、振り返ってみると、平成が令和になり、消費税が増税され、コロナが流行し・・・、入職してから様々な変化がありました。また、今年度 4 月に本庁から保健センターへ初めて異動になったことも、私にとって大きな変化の一つでした。かつてタービンや 5 倍速片手に日々診療をしていたのが、行政に入り、さらに歯科保健業務から感染症対策業務等へと歯科からはほぼ離れる形となりました。今はコロナを筆頭に様々な感染症業務を主に、健康づくり、介護予防、防災等も担っています。

世話役とは名ばかりで、未だ大したことができておりませんが、現在本県の会員数が名簿で約 60 名と大勢いますので、みなさまのご意見も拝聴しながら何か役立つ活動ができればいいなと個人的に考えております。

そんな私にとって、行歯会だよりや行歯会メールでいただける情報は非常に貴重で、大変刺激を受けております。感謝申し上げます。地域を超えた横の繋がりを大切にしながら、頂いた情報を活用し日々の業務に取り組んで参りますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

●●●●●●●● 福岡県 ●●●●●●●●

福岡県保健医療介護部健康増進課 技術主査 田中 照彦

1 世話役のつぶやき

行歯会の皆さま、いつも大変お世話になっております。昨年度から福岡県の世話役を担当している田中と申します。

福岡県は北九州市、福岡市の 2 つの政令指定都市と、中核市である久留米市、その他 57 市町村が所在する九州最北の県であり、市町村数は全国第 4 位です。人口は約 512 万人で全国第 9 位であり、九州では最多なのですが、行歯会員数は 9 名と些かさみしい状況です。

私の出身は長崎県ですが、福岡県民である期間の方が長くなったので、もう立派な第二の故郷といえます。高校野球で長崎県代表と福岡県代表が戦ったら、たぶん福岡を応援します。



2 福岡県の最近のトピックス

昨年は福岡県でも新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大があり、第7波に見舞われた夏のピーク時には、新規陽性者数が15,000人を上回る過去最大規模の感染状況となりました。

この新型コロナウイルス感染症をはじめ、新興感染症の多くは人獣共通感染症であり、福岡県では、人と動物の健康と環境の健全性を一体的に守る「ワンヘルス」の理念を実践するため、全国で初めてワンヘルスの推進を掲げた条例を令和2年に制定しています。

そして昨年は、本条例に基づく計画の策定や、福岡市における「第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会」の開催と「アジアワンヘルス福岡宣言2022」の採択等、ワンヘルスの取組が大きく前進した年となりました。

さて、歯科専門職としてはやはり、歯と口の健康づくりを通じてワンヘルスに貢献したいところですが、福岡県の歯科口腔保健の現状に目を向けると、全国と比べて子どものむし歯が多く、12歳児DMFTは全国平均を上回る状況が続いています。

そんな中、北九州市において教育委員会の主導により、令和5年度までに全公立小学校でフッ化物洗口が導入されることとなり、県としても県歯科医師会等と協力しながら全力でこれを支援しているところです。

政令市での全校導入であるため恩恵を受ける子どもの数は多く、また他の市町村への影響も期待できます。これを追い風にフッ化物洗口の普及を推進し、県民の歯を1本でも多く残し、健康寿命を1日でものばせたらと思いながら、日々補助金や予算関係の書類と戦っています。

「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集！

「歯っとサイト（歯科口腔保健の情報提供サイト）」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、

掲載コンテンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている編集担当宛にご連絡ください。

♪ 編集後記 ♪

今年になって友人に誘われ、ヨガに初挑戦しました。初級者向けの緩～いレッスンにも関わらず、シンプルな基本のポーズでさえもプルプル震えて維持できず、途中で目眩と吐き気にまで襲われ、自分の体幹の弱さに愕然としました。今諦めたらフレイルまっしぐらです！！ひとりだと忘れてしまいましたが、友人と一緒に続けてみようと思います。（條）

新しい年を迎え、介護度5の父の在宅介護も13年目となりました。父母と一緒に私もエンディングノートを記入しました。「かかりつけ医」を記入する欄はありますが「かかりつけ歯科医」を記入する欄がなく、ガッカリ…。余白に記載しました。出版社のお客様相談室に電話してリクエストしようかな？（余談ですが、以前、永谷園の「煮込みラーメン」が製造中止になったときもお客様相談室に「ぜひ復活させて欲しい！」とリクエストして、現在、見事復活してうれしい限りです）（島）

